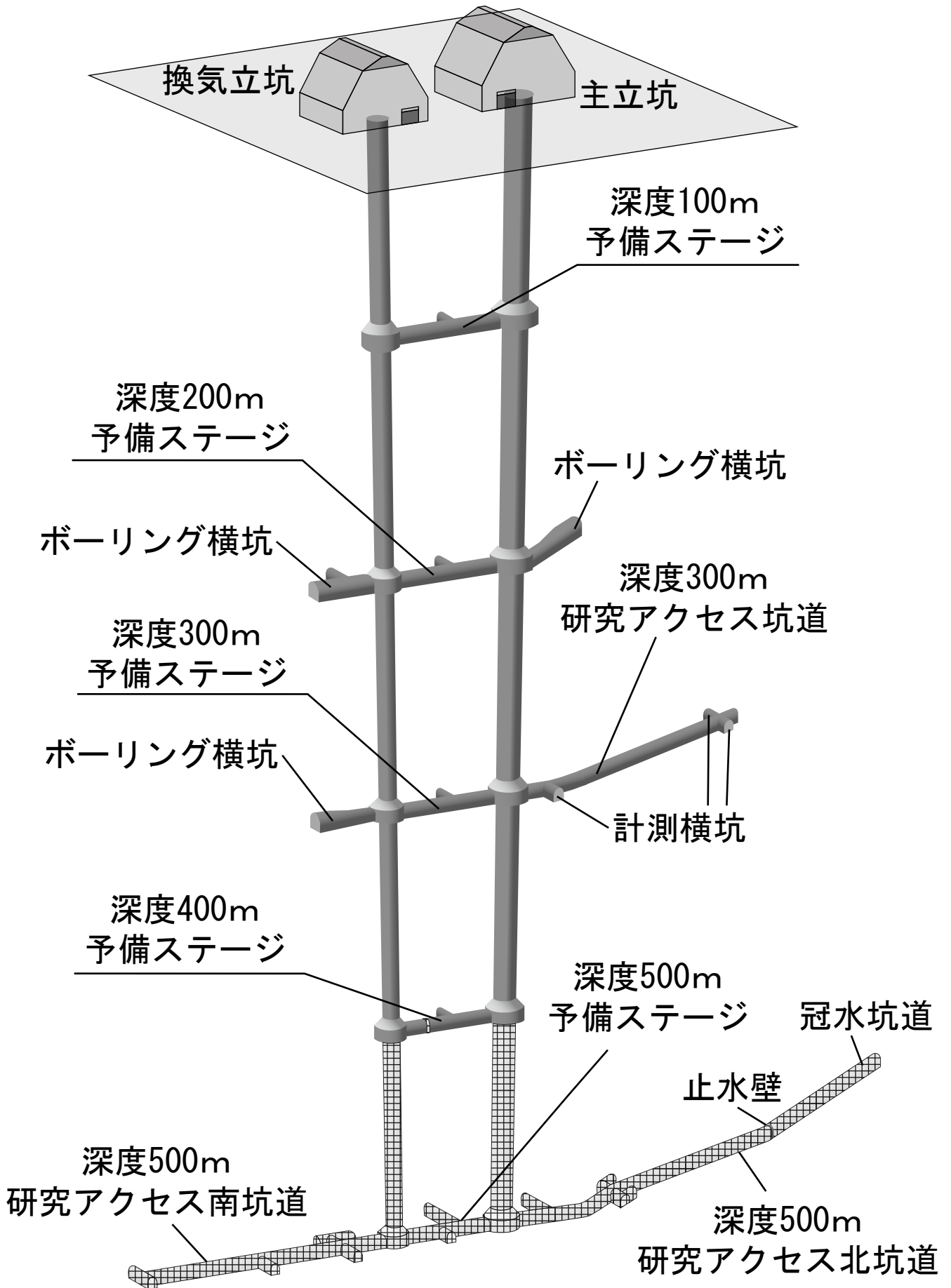


## 東濃地科学センターの状況

1. 瑞浪超深地層研究所研究坑道埋め戻し
  - ・主立坑:坑道埋め戻し
  - ・換気立坑:坑道埋め戻し
  - ・坑内外設備の維持管理
  - ・瑞浪超深地層研究所からの排水 排水処理後放流を実施中 (2020/8月の平均排水量: 711 m<sup>3</sup>/日)
2. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
  - ・加速器質量分析装置(AMS): <sup>10</sup>Be 測定終了 (2020/9/23~9/27)、<sup>36</sup>Cl 試験測定中 (2020/9/28~)
3. 地質環境の長期安定性に関する研究
  - ・調査技術の開発・体系化を継続
  - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
  - ・年代測定技術の開発を継続
4. 地下水の環境モニタリング調査
  - [瑞浪超深地層研究所用地]
    - ・深度 300m のボーリング横坑 (換気立坑) における鉛直ボーリング孔 (09MI17-1・09MI19 号孔) を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・深度 100m、深度 200m、深度 300m 及び深度 400m の水平坑道 (予備ステージ) における水平ボーリング孔 (05MI01・07MI07・09MI20・10MI26 号孔) を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔 (10MI23 号孔) を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔 (09MI21 号孔) を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度 500m 研究アクセス南坑道における水平ボーリング孔 (12MI32 号孔) を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔 (12MI33) を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔 (13MI39~41) を用いた地下水水圧観測を継続
    - ・深度 500m 研究アクセス北坑道、予備ステージ、冠水坑道での地下水水圧・水質観測を継続
    - ・地表からのボーリング孔 (MSB-1-4・05ME06 号孔・MIZ-1 号孔) を用いた地下水水圧・水質観測を継続
    - ・主立坑、換気立坑での地下水水質観測を継続
  - [正馬様用地]
    - ・地表からのボーリング孔 (AN-1, MIU-2~4 号孔) を用いた地下水水圧観測を継続
  - [広域地下水流動研究対象地域]
    - ・地表からのボーリング孔 (DH-2, 10, 11, 13, 15 号孔) を用いた地下水水圧・水質観測を継続
5. 瑞浪超深地層研究所環境調査
  - ・流量観測を継続 (狭間川)
  - ・水位観測を継続 (研究所周辺井戸)
  - ・研究坑道掘削土に関する環境管理測定を継続
  - ・環境保全協定に基づく排出水等の測定を継続
6. 瑞浪超深地層研究所における施設利用等
  - ・東濃地震科学研究所の施設利用 (研究坑道内に設置した応力計、地震計及び水圧計による観測) を継続

坑道埋め戻し状況 (2020. 10. 1現在)



埋め戻し完了範囲